

第7回全国高校生SBP交流フェア 募集要項

1. 趣旨

我が国は、少子高齢化や人口減少といった構造変化もあり、地方において厳しい状況となっています。地方によっては経済環境に厳しいところもみられますが、地方において経済の好循環が実現しなければ、「人口減少が地域経済の縮小を加速させる」という負スパイラル（悪循環連鎖）に陥るリスクが高くなります。

そして、このまま地方が弱体化するならば地方からの人材流入が続いてきた都市もいずれ衰退し、競争力が弱まることは必至です。地方において人口減少を克服し、将来にわたって我が国の成長力を確保するためにも、新たな国内外の有望成長市場を取り込みつつ地域づくりに対応できる人材の育成が急務となっています。

このため、郷土の愛情に育まれて成長した若者が自ら行動して、教養や実践的な問題解決力の習得を通じて、交渉力やコミュニケーション能力を有する「地域人材」として、リーダーシップを発揮しつつ、地域の課題に取り組み、新たな市場をも創造できる未来創造型リーダーの育成が求められています。

文部科学省は2020年7月17日に中央教育審議会の特別部会を開き、高校の普通科を3つに再編する案が示されました。これは現行の普通科に加えて地域やグローバル社会の課題解決のための学習を提供する学科をつくることを認めるものであり、私たちが必要と考える人材育成の流れでもあります。

このような背景を踏まえ、全国高校生SBP（ソーシャル・ビジネス・プロジェクト）交流フェアは、全国のSBP活動に関わる高校生を中心とした団体・グループが“取組の紹介”や“開発商品や企画の紹介・販売・発信”をしながら参加者相互の情報交換やネットワークの構築のための交流の場を提供しつつ、互いの評価等を通じてモチベーションを高めながら、さらに進化していくことを目的に開催するものです。

2. 主催

一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 「未来の大人応援プロジェクト実行委員会」

3. 後援・協力（予定）

以下は 2021年に実施された第6回全国高校生SBP交流フェアでの実績 となります。

●後援

文部科学省、内閣府（地方創生推進事務局）、総務省、農林水産省、厚生労働省、国土交通省、観光庁、中小企業庁、三重県、三重県教育委員会、伊勢市、多気町、南伊勢町、皇學館大学、伊勢商工会議所、伊勢度会ロータリークラブ、南伊勢町商工会

●協力

株式会社赤福、アドビ株式会社、株式会社アンシャンテ、NT GROUP、公益財団法人修養団、国立大学法人東京学芸大学、株式会社百五銀行、株式会社百五総合研究所、NEXCO 中日本サービス株式会社、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社三重支社、株式会社ベネッセコーポレーション、マルシェ株式会社、三重県教育工学研究会、みらいこ株式会社、有限会社わらしべ 他

4. SBPとは

SBPとは、ソーシャル・ビジネス・プロジェクトの略称であり、高校生ら若者が主体的に地域の様々な社会的課題を市場としてとらえ、ソーシャルキャピタル（社会関係資本）の考え方に即して、ビジネス手法を取り入れながら、地域資源（ひと、モノ、自然、歴史、名所旧跡、産業等）の発掘・企画・開発・販売・発信等を通じて地域の課題を解決する「学びの機会」とともに、その取組を地域が関わり、応援し支えていこうというものです。

SBPは、以下のような効果と成果を期待しながら活動を展開します。これらの活動を通じて、高校生らが「郷土愛の醸成」、「地域や地元に対する魅力発見・定着」、「地域の一員として地域活性化への貢献」等を期待します。

- ・ 高校生らの若者が主体的に地域の様々な社会的課題を市場としてとらえ、地域の方々（地元住民、商工、行政、企業、NPO等民間団体等）とその解決を目指す事業であり、①「主体性」、②「社会性」、③「事業性」、④「革新性」の4要件を満たしており、活動成果として地域経済の活性化や新しい雇用ビジネスの創出に寄与する効果を期待します。
- ・ 地域にある宝（地域資源）を発掘し、地域づくりに結び付けながら、自己研鑽能力を高めることを期待します。
- ・ 地域課題に対して「ビジネス」の手法を用いて創意工夫しながら実践に取り組むなかで、企画立案・プロデュース能力を習得することを期待します。
- ・ 全国の高校生ら若者との交流を通じて、広域による新たなソーシャルビジネスの展開を期待します。

SBPは、三重県多気町にある相可高校食物調理科が運営する高校生レストラン「まごの店」等を先進事例に、2013年4月に三重県南伊勢高校南勢校舎で最初のSBPが立ち上がりました。そして今、この地域に根差した取組が全国に広がっており、現在約80の団体がそれぞれの地域で活動をしています。

5. 開催日程及び会場

第7回全国高校生SBP交流フェアはオンラインと現地のハイブリット開催で実施します。

●プログラム1：SBPチャレンジアワード本選（オンライン開催）

令和4年7月30日（土）・7月31日（日）

SBPチャレンジアワードに出場する団体の取り組み発表をオンラインで実施します。

SBPチャレンジアワードに出場されない団体は見学（視聴）ができます。

【プログラム1の日程】

日程	時間帯	内容
7月30日(土) グループA	13:00	プログラム1 開会式
	13:30	SBP チャレンジアワード本選(発表5分、質疑応答5分)
	15:30	プログラム1 閉会式
7月31日(日) グループB	9:00	プログラム1 開会式
	9:30	SBP チャレンジアワード本選(発表5分、質疑応答5分)
	11:30	プログラム1 閉会式
7月31日(日) グループC	13:00	プログラム1 開会式
	13:30	SBP チャレンジアワード本選(発表5分、質疑応答5分)
	15:30	プログラム1 閉会式

SBP チャレンジアワード本選の結果発表および講評は8月7日(日)10:00よりオンラインにて実施します。A・B・Cの各グループから2団体ずつ合計6団体を選出され、SBP チャレンジアワード決勝にて発表をおこないます。

●プログラム2：SBPチャレンジアワード決勝・交流会(三重県伊勢市 皇學館大学にて開催) 令和4年8月20日(土)・8月21日(日)

[1日目] SBP チャレンジアワードの決勝(皇學館大学の講堂にて取り組み発表)をおこないます。その後、「実践発表交流会」の中で参加団体の取り組み(商品の販売や作品発表)を発表しながら交流をおこないます。

[2日目] 協賛企業や団体が高校生のためにワークショップをおこないます。また大人のための交流・セミナーを同時開催します。昼食には相可高校食物調理科のお弁当をいただき、その後SBP チャレンジアワードを含めた結果発表・表彰式、審査員や大人との交流をおこないます。

【プログラム2の日程】

日程	時間帯	内容
8月20日(土)	13:00	プログラム2 開会式
	13:30	SBP チャレンジアワード決勝 取り組み発表
	16:00	実践発表・交流会(夕食含む)
	20:00	解散
日程	時間帯	内容
8月21日(日)	09:00	ワークショップ・SBP セミナー
	11:30	昼食(お弁当)
	13:00	結果発表・表彰式(審査員交流)
	15:30	プログラム2 閉会式
	16:00	解散(プログラム2終了)

新型コロナウイルス感染拡大状況によっては現地開催を中止し、オンラインに切り替えます。この場合は8月21日(日)のみの開催となります。また、新型コロナウイルス感染防止のため、状況によっては飲食の提供や各団体の食べ物の出展を制限しての対応をおこないます。

6. 参加形態および参加費・宿泊について

●参加形態について

SBP 交流フェアへの参加については、SBP チャレンジアワードへの出場、実践発表交流会への出展、ワークショップ・見学（のみ）から、お好きな項目をお選びいただきます。

- SBP チャレンジアワードへの出場+実践発表交流会への出展+ワークショップ
- SBP チャレンジアワードへの出場+ワークショップ
- 実践発表交流会への出展+ワークショップ
- ワorkshop・見学（のみ）

【参加形態と必要な手続き】

参加形態	参加申込	チャレンジアワード 書類提出	実践発表 出展申込	WS 希望確認
SBP チャレンジアワードへの出場	●	●	なし	●
実践発表交流会への出展	●	なし	●	●
ワークショップ・見学（のみ）	●	なし	なし	●

●参加費・宿泊費について

プログラム2が現地開催の場合のみ1名あたり1,000円が必要となります。会場最寄り駅までの交通費と宿泊費は各参加団体のご負担となります。

宿泊については伊勢修養団にて1泊4,000円にてお泊り頂けます。宿泊数（150名程度）に数があるため先着順で事前予約となります。それ以外の宿泊場所の確保は各団体にてご対応ください。

また、プログラム1のオンライン開催参加時はインターネット環境およびパソコン・Webカメラなどの機器が必要となります。これらの機器は各団体にて用意ください。Web会議システムはMicrosoft Teamsを利用しますが、Web会議への参加に必要なアカウントはこちらにて用意いたします。

7. 参加対象

●参加対象者

地域と連携した持続可能なソーシャルビジネスに取り組む高校生や高校等の団体及びSBP活動に関わる地域や企業の方、行政関係者等が対象となります。

（1）SBPの趣旨に賛同でき、SBP活動として紹介しても良い団体

*SBP交流フェア全日程に参加できる団体を優先します。

*SBPに限らず同様の取組をしている高校は多くあります。このフェアでは、自分たちの取組をモデルとして、他団体が同じことをしても構わないというオープンな姿勢で学び合える活動を目指しています。

*フェアの中で撮影される動画や写真は後日、当団体のホームページやSNS、各種メディアに掲載されることがあります。事前にご了承願います。

（2）その他、これからSBP活動の立ち上げを検討されている方や取り組みに関心のある方等

(注記) 全国高校生 SBP 交流フェアにおける「高校生」について

下記の学校に在学している生徒とします（国立・公立・私立は問いません）。
「高等学校」「中等教育学校の後期課程」「特別支援学校の高等部」「高等専修学校」
「高等専門学校（第1学年から第3学年まで）」「その他これらに準ずる教育機関」
ただし、科目履修生、聴講生等は対象となりません。

8. 参加部門の内容

(1) SBPチャレンジアワードへの出場

- ① 高校生が地域の課題をビジネスの手法を用いて解決する取組を行っている団体である団体の代表者など主に取り組む者が「高校生」であることが要件となります。
「高校生」以外の者が当該団体に所属又は活動に参加していても問題ありません。
- ② 原則として次の全ての要件を備えている取組を対象とします。
 - * 主体性のある取組
 - 高校生が運営上の意思決定をしている
 - 団体・グループの活動規約等がある
 - 団体・グループの活動規約で参加者の役割が明確である
 - * 社会性のある取組
 - 地域の課題を反映してその課題の解決に寄与している
 - 活動には地域・コミュニティとのつながり「絆（きずな）」がある
 - 地域行政、地元企業・団体等と連携している
 - * 事業性のある取組
 - 事業が自立的で継続的である（取組中も含む）
 - 企業・団体等と連携している
 - クライアントの意見・声等を活動に反映している
 - * 革新性のある取組
 - 新しい視点・手法を活動に導入している
 - 他の取組と差別化できている
 - 他の地域にも波及する可能性がある
- ③ 例外として、これまでに全国高校生SBP交流フェアの本アワードに応募したものであっても、発展性のある取組が見られるものについては再応募も可能とします。また、過去に本フェアにて文部科学大臣賞または三重県知事賞を受賞した団体の応募（ただし、受賞時と同じ取組に限る）においては、第1次選考は免除します。（応募資料の提出は必要です）

(2) 実践発表交流会への出展

実践発表交流会は、SBPの実践発表会の場合として物品の展示や販売・劇やダンス・映像を使った発表などをおこないながら、参加する高校生、関係者らと交流します。出展を希望される団体についてはそれぞれの発表の仕方を調整の上、実施いただきます。

* 第4回SBP交流フェアでは、三重県の伊勢市駅近くにある「しんみち商店街」にて夜の市を実施、第5回・第6回のオンライン開催の時はオンライン交流会を実施しています。

(3) SBP チャレンジアワードの見学・オンライン交流会への参加

SBP の取り組みや SBP 交流フェアを応援してくださっている協賛企業・団体が、高校生のために動画やアート、レクレーションなどのワークショップを実施します。SBP 交流フェアの見学を含め高校生が無料で参加できます。

*これまでの SBP 交流フェアでは動画や CM 作成、トートバッグ、T シャツづくり、壁画作成、SDGs セミナー、レクレーションなどをおこなっています。

*同時時間帯にて大人の方（引率、関係者など）へ向けた SBP セミナーも開催します。

9. SBP チャレンジアワードでの審査方法・応募・発表内容・表彰について

(1) 審査方法

① 第 1 次選考 書類審査

応募団体からの提出書類及び活動紹介動画と実行委員会が必要に応じて提出を求める資料・書類について書面審査を行い、本選考基準に基づいて参加団体（24 団体程度）を選考します。（活動動画提出は、任意ですが加点対象となります）

② 第 2 次選考 SBP チャレンジアワード本選

第 1 次選考で選ばれた団体は A、B、C ブロックに分かれそれぞれの本選（オンライン）にて発表をおこないます。発表内容は審査員が絶対評価を行い、それぞれ『極』（90 点以上）、『輝』（75 点以上、90 点未満）、『雅』（50 点以上、75 点未満）の評価を行います。

また、各ブロックの上位 2 団体、計 6 団体については決勝（現地）への出場団体として決定します。

審査については、以下の項目を基準に総合的に審査します。

- ① 取組に関すること 「主体性」「社会性」「事業性」「革新性」
- ② 当日の発表に関すること 「発表の内容と方法の工夫」「質問への応答」

(2) 応募に当たっての留意事項

- ・ 地域（住民・市民活動団体、NPO 等民間団体、企業、商工団体等、行政（役場等））との協働関係のもと、地域課題解決をテーマとした取組や、地方創生につながる取組であること。
- ・ 応募資料の他、スマートフォンやタブレットなどで撮った 1 分程度の取組紹介映像の提出をお願いしています。参考映像は SBP 交流フェアのページをご覧ください。動画提出は任意ですが書類審査における加点対象とし、ホームページ上で学校紹介、取組紹介等と合わせて、紹介させていただくことがあります。
- ・ 応募に当たって参考になる資料がありましたら、申し込み時に一緒に提出ください。送付方法などは別途案内致します。
- ・ 御提供いただいた情報及び今後御提供いただく情報の利用目的は、次のとおりです。
 - ① 御本人・団体の確認
 - ② 応募の受付、審査及び審査結果の通知・発表（応募用紙の情報（団体名、代表者名、取組名、活動内容等）をホームページ等で公表することがあります）
 - ③ アンケートの実施等による調査・研究及び参考情報の提供
- ・ 審査内容についての個別の問い合わせには応じられません。また、応募書類等の返却はいたしません。

- ・ 虚偽の事実や盗用等が判明した場合は、結果発表後においても受賞を取り消すことがあります。
- ・ 応募プランに関する全ての権利（著作権、肖像権、特許権、商標権等）については、必要に応じて予め応募者が行ってください。これらの権利に関して第三者から異議や請求等があった場合は、応募者の責任において処理していただきます。

(3) 応募後の連絡

提出いただいた書類をもとに、開催趣旨と上記アワードの基準に沿って事務局で選考をし、結果をお知らせいたします。なお、提出いただいた書類の内容について不明点等がある場合は再提出を依頼することもあります。

(4) 発表内容

① SBP チャレンジアワード本選

発表内容は、1. 団体名、2. 取組名（事業名）、3. 取り組み内容です。

Web 会議システムを使ったオンラインでの発表となり、取り組み内容などを自由に発表していただきます。審査時間は、各団体それぞれ説明（5分）、質疑（5分）です。

当日の通信や機器不具合を回避するために、発表の一部は動画であらかじめ録画し、当日に利用します。団体ごとの発表場所・環境については各団体にてご準備ください。

② SBP チャレンジアワード決勝

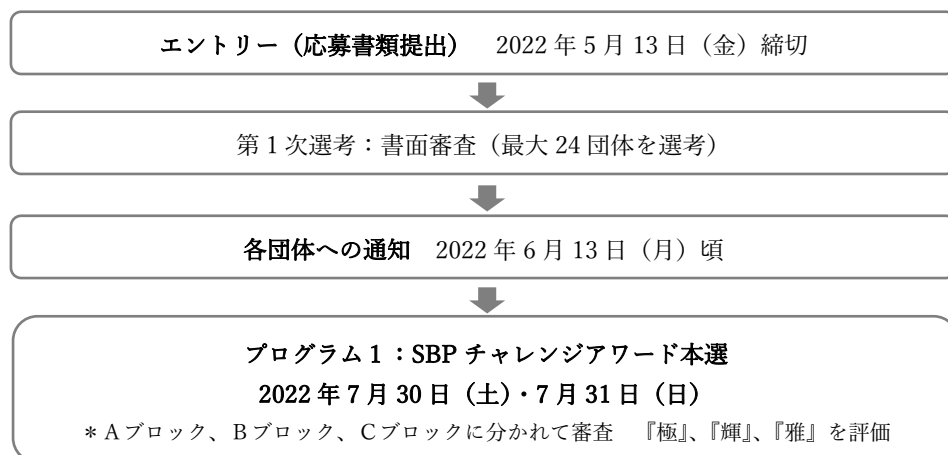
発表内容は、1. 団体名、2. 取組名（事業名）、3. 取り組み内容です。決勝は皇學館大学の講堂にて登壇して発表頂きます。審査時間は、団体それぞれ説明（10分）、質疑（10分）計 20 分です。なお、発表でプレゼンテーションソフトを使用する場合は、Microsoft Office の Power Point（最新版）を使用します。

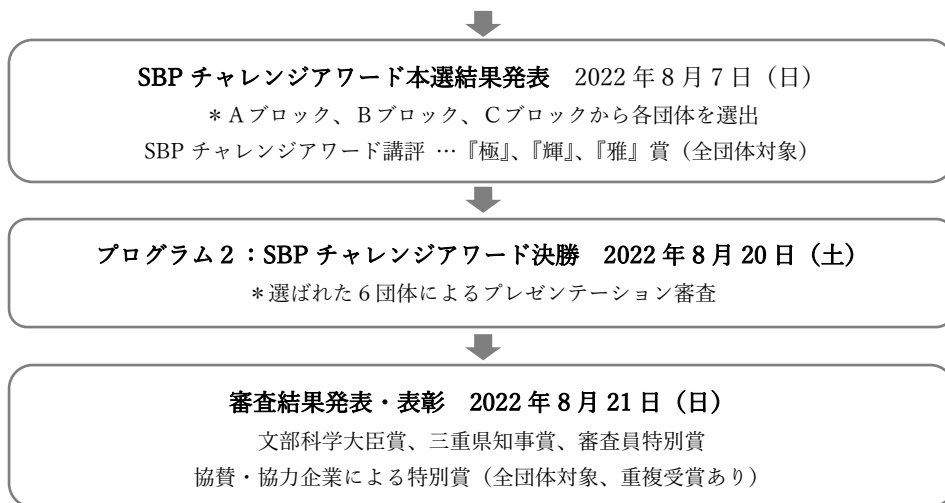
(5) 表彰の種類

最優秀賞として文部科学大臣賞、優秀賞として三重県知事賞を授与するほか、審査員特別賞、各協賛企業の特別賞を授与する予定です。

(6) エントリーからの流れ

エントリーからの流れは次の通りです。





10. 応募について

(1) 期間について

第7回全国高校生 SBP 交流フェアへの参加申込(実践発表交流会、ワークショップ、見学のみ)は2022年6月末までとなります。それ以降の申し込みについては、参加団体としてのパンフレットへの掲載ができません。

また、SBP チャレンジアワードについては応募締め切りが2022年5月13日(金)となりますのでご注意ください。

(2) 応募方法

「未来の大人応援プロジェクト」ホームページの SBP 交流フェアのページからお申込みください。お申し込み後に、専用の ID (未来の大人アカウント) を発行致します。その情報を利用して審査資料の提出をお願い致します。URL はこちらです。<https://mirai-otona.jp/sbpfair/>

(3) その他

参加を検討しているが条件などがありお困りの場合はご相談ください。

SBP 交流フェア開催中に関係者が撮影した写真や動画につきましては、広く SBP 活動を紹介するためホームページ等で公開し利用させていただきます。また、パンフレットに参加校(見学を含む)を掲載しますので写真や紹介文章を用意ください。

11. お問い合わせ先

未来の大人応援プロジェクトホームページ (<https://mirai-otona.jp/>) にてご確認いただき、ご不明な点は下記にご連絡ください。

お問い合わせ先

未来の大人応援プロジェクト実行委員会 事務局 担当：山岡 茂治、岸川 晃大

メールアドレス：sbpfair@mirai-otona.jp

電話：070-3824-8843 (山岡携帯) 住所：〒516-0074 三重県伊勢市本町 8-11